



地域とともにある学校づくり

品川コミュニティ・スクール通信 VOL.7

## 新型コロナ禍での コミュニティ・スクール

令和2年7月8日 発行

新型コロナ感染拡大防止のため、3月3日から始まった区内の公立学校の休業期間は、5月末まで続きました。

児童・生徒が登校できない状況の中、校区教育協働委員会や学校支援地域本部ではどのようなことが行われていたのでしょうか。一部を御紹介いたします。



### 校区教育協働委員会で、 学校運営の考え方を共有 【京陽小学校】



3密を避けるため、窓を開け、広い家庭科室で実施

新型コロナ感染拡大防止のための学校休業という未曾有の状況の中、京陽小学校では、5月25日に校区教育協働委員会を開催しました。

「子どもたちの命を守ること」そして「子どもたちの学びを止めないためにできることは何か」「学校が果たすべき役割とは」などを委員の皆さんと共有していました。

校長先生から、新しい委員の方々の紹介や年度当初の計画から再開に向けて変更したことなどを説明されていました。委員の皆さんからは、家庭での子どもたちの様子や地域の商店街の厳しい状況などのお話がありました。

この会で知った地域の困りごとを、学校として子どもたちと何かできないか、早速検討

を始めたそうです。そのような取り組みは、子どもたちにとって、自己有用感の醸成に結びつきます。「話をする事」によって、それぞれが抱える課題が共有され、協働するきっかけとなることを改めて実感しました。



### 1年生の下校に付き添う 地域ボランティアの方々 【宮前小学校】

1年生にとっては、入学式以来初めてのランドセルを背負っての下校の日となった5月25日、宮前小学校では、登校した1年生を地域別に6つのグループに分け、1グループに地域ボランティアが2人ずつ付いて一緒に下校するようにしました。

例年ですと、クラス担任が交通安全指導するところですが、今年は、分散登校で、これから登校してくる別グループの児童の受け入れをしなければなりません。

そこで、児童の安全を守るため、教職員だけでは足りないところを地域や保護者ボランティアの皆さんにお願いすることとなりました。

当日は、7名の方々が駆けつけてくださり、無事初日を終わることができました。



緊張気味の1年生。地域の方に見守られて下校しました



## その他にも、できることを

その他、休校中の花壇の手入れ、稲やサツマイモの苗を植えるなど授業が始まった時のための準備などを行ったり、図書館開放・校庭開放の受付をボランティアの方々が担ってくださったりした学校もありました。児童が描いた新型コロナウイルス感染拡大防止のための標語ポスター作品を学校地域コーディネーターからの依頼で掲示して下さった商店街もありました。



バケツ稲植え  
【三木小学校】



校庭開放受付  
【第三日野小学校】



ポスター掲示  
【台場小学校】



バケツ稲植え  
【旗台小学校】



交通安全教室引率補助  
【源氏前小学校】

## 品川地域未来塾 指導員 募集！

品川区内の多くの公立学校では、コミュニティ・スクールの活動の一環として、品川地域未来塾を実施し、子供たちへ「学びの場」を提供しています。

地域の方々や大学生、講師・指導助手等を指導員として放課後や長期休業中に行います。

参加する子どもたちも、自身の「成長」を実感しています。

学びに向かう姿勢や学習の遅れを取り戻す上でも、未来塾の必要性は高まっており、多くの指導員を必要としています。

教員免許がない方でも指導員になることができます。詳細は、各校までお問合せください。

## ボランティア登録のお願い

学校支援地域本部活動の一環として、ボランティアが必要になった時にお声かけします。無理のない範囲でご参加ください。登録は随時受け付けております。

詳しくは、活動を希望する学校の学校地域コーディネーターにお問い合わせください。

品川コミュニティ・スクールについて、ホームページで詳細をご紹介します。

品川コミュニティ・スクール

検索



発行・問い合わせ

品川区教育委員会事務局  
指導課学校地域連携係

〒140-8715

東京都品川区広町 2-1-36

TEL. 03-5742-6595